

## 平塚市行政改革推進委員会(事業評価)の結果について

<b>事業No.</b>	10			
<b>事業名</b>	文化スポーツまちづくり振興財団運営費助成事業		<b>所管課</b>	資産経営課
<b>判定結果</b>	見直し		<b>傍聴者数</b>	29人
<b>判定内訳</b>	現行 どおり	1	見直し	7
			国・県	0
			廃止	0

### 事業評価シートの記載内容

**【委員長】 見直し…廃止に近い**

- ・やはり出資法人の改革議論はもう一度やるべきという思いを強くしてしまう。
- ・このままでは、財団のやっている各事業の必要度すら問われないのは大問題。
- ・財団がある限り改善はないように思われる。現実を無視できればリセットすべきと思われる。

**【副委員長】 見直し…平塚市が今後も関与するべきだが方法を見直すべき**

- ・もう少しイベントごとにチェック、工夫すれば、補助金を減らせるのでは。(イベントの見直し、内容見直し、方法見直しなど)

**【A委員】 見直し…事業費を削減するべき**

- ・財団の個別の事業の見直しを進めていくことで、補助金の削減につながる努力をしてほしい。

**【B委員】 見直し**

- ・財団への委託事業、補助事業をできるだけ見直し、固定せず、業務のスリム化をすべきである。統合時に明確にされるべきであった。
- ・実際には委託、補助金を終了しているものが近年あり、その方向性なのだと思うが、その基準が不明である。

**【C委員】 現行どおり**

- ・統合したことにより市民の立場で文化スポーツが一層身近になった。公共施設の利便性が高まったとのこと。更に業務運営もスムーズとのことから現行どおりとする。

**【D委員】 見直し…事業内容を見直すべき**

- ・事業が広範囲にわたっているので、他の組織と重複しているところは他に任せた方が良くと思う。財団への補助は財団の自立が一番なのでまず、民間委託も考えてみてはどうでしょうか。

**【E委員】 見直し…事業費を削減するべき**

- ・成果が不明な状況での補助金を見直すべき。目標単位の助成とするのが良い。

**【F委員】 見直し**

- ・自主自立の道が残されているのであれば、5・6千万円を補助し続けることの説明責任が果たせない。
- ・市、財団共に工夫しているようだが、自主自立のために何ができるか徹底した検証が必要。
- ・3団体が強引に一つになった弱みを異業種交流からのイノベーション、強みにかえる。
- ・団体補助への見直しには「きっかけ」が必要。今回の事業評価がきっかけになると良い。